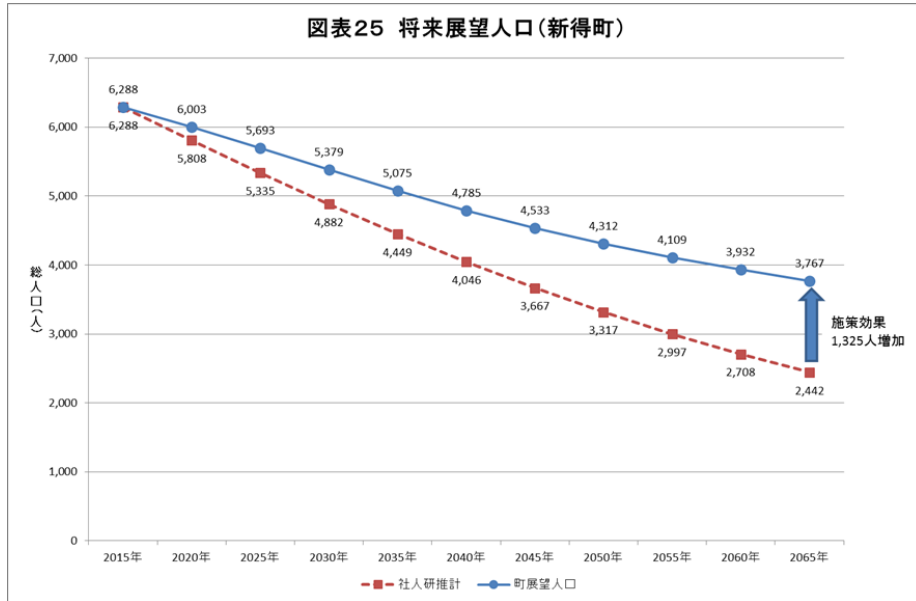


第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

○日本の人口の現状と新得町将来展望人口(概要)

日本の人口は、2008年から減少し、他の国に例を見ない速度で少子高齢化が進行しています。社人研推計(出生中位・死亡中位推計)によると日本の総人口は、**2065年には8808万人になると推計**されています。



合計特殊出生率の向上と社会増減の均衡を実現することにより、人口の急激な減少を抑制し **2045年の人口は4,533人、2065年の人口は3,767人と展望**します。

○第2期新得町まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要)

様々な事業を複合的に実施することにより展望人口達成を目指します。毎年検証委員会において成果検証を行い施策・事業の見直しを図ります。



■基本目標1 結婚・出産・子育て

婚姻件数：5年 80組⇒84組

結婚の希望をかなえる

- ①婚活イベント企画謝礼【新規】

出生数：5年 187人⇒190人

年少人口：593人⇒617人

子どもを生み育てる希望をかなえる

- ②不妊・不育治療費助成、③産前産後の母子支援と検診体制の充実
- ④出産祝い金支給、⑤乳幼児・子ども医療費助成、⑥保育所・幼稚園運営事業
- ⑦道民育児の日啓発事業、⑧養子縁組里親制度周知【新規】

■基本目標2 産業・雇用・稼ぐ力

納税者：2,310人⇒2,380人

産業の持続的な発展のための人材を育成する

- ①農協研修農場との連携による担い手確保、②レディースファームスクール運営事業
- ③林業担い手育成事業、④産業担い手住宅の整備・活用、⑤労働力確保対策事業

納税企業数：330件⇒340件

所得額：254万円⇒262万円

産業に磨きをかけ稼ぐ力を付ける

- ⑥新規就農者支援、⑦商工業活性化事業、⑧地域振興事業、
- ⑨6次産業化の取り組み支援、⑩特産品の改良・開発に対する支援【新規】
- ⑪地産地消、愛町購買の推進

■基本目標3 生活環境

住みやすさ：5ポイント上昇

若者が安心して子育てできる環境を整備する

- ①子育て支援体制の充実、②放課後児童クラブ運営事業
- ③子育て世帯向け住宅の整備

全てのひとが安心して暮らすことができるまちづくりを進める

- ④地域医療確保事業、⑤交通弱者対策事業、⑥福祉人材の確保支援

人口が減少する将来を見据えたまちづくりを進め

- ⑦駅前イベント開催支援事業、⑧駅前周辺再整備
- ⑨トムラウシ地区小さな拠点事業、⑩居住誘導区域の設定検討【新規】
- ⑪事務事業評価等の各種見直しの実施

■基本目標4 人の流れ

宿泊客:161千泊⇒174千泊

関係・交流人口を拡大し地域の活性化を図る

- ①戦略的な観光宣伝と観光客誘致活動
- ②追加インターチェンジ整備および道の駅整備
- ③スポーツ合宿および全国大会等の誘致

新築住宅等:5年212件⇒219件

移住定住につながる住環境を整備する

- ④移住定住住環境整備事業

社会増減:5年△147人⇒±0人

新たな人の流れと関係人口を創出する

- ⑤移住情報の発信と移住体験事業実施、⑥地域おこし協力隊の招聘
- ⑦テレワーク等の受入促進、⑧高校生、大学生との連携
- ⑨しんとく仕事辞典発刊の検討【新規】
- ⑩ふるさと納税による関係人口の創出

■基本目標5 広域連携

広域連携の推進により地域課題の解決を図る

- ①十勝定住自立圏域共生ビジョン施策の推進
- ②広域事務および公共施設広域利用の取組推進

人口減少対策に関する北海道との連携強化

- ③北海道事業との連携強化

■横断目標 認識と協働・コミュニティ・先端技術

人口減少に対する基本認識を町民と共有し、共にまちづくりを進める

- ①人口減少問題に関する理解促進【新規】
- ②若者のまちづくり参画促進【新規】

町民や企業との協働により地域課題の解決を図る

- ③町民みんなが営業マン事業【新規】

時代にあった新たな地域コミュニティの形成を図る

- ④「ごちゃまぜ」のコミュニティづくり推進

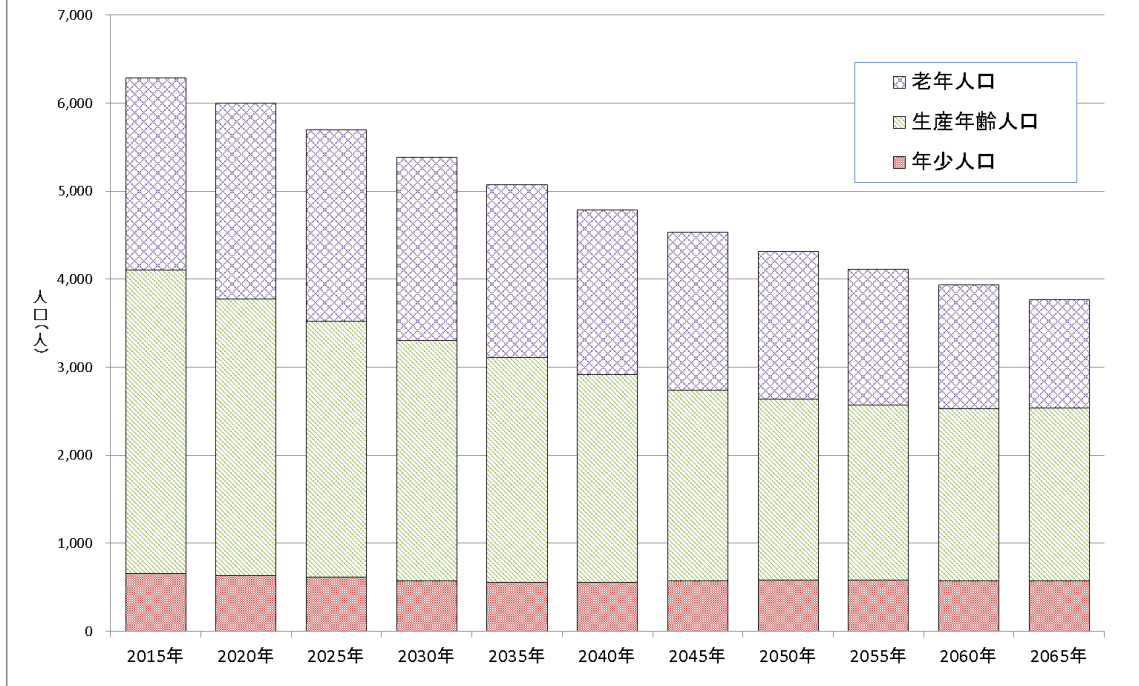
官民連携により女性・高齢者・障がい者等の新規就業の促進、季節雇用者の地域定着を図る

- ⑤勤労者福利厚生施設整備事業、⑥障がい者就労支援

新たな技術の活用により地域課題の解決を図る

- ⑦各種最新事業の実証事業への取組促進

図表27 将来展望人口における年齢3区分別人口(新得町)



図表28 将来展望人口の人口ピラミッド (5歳階級・新得町)

